



終戦から79年...



平和・人権・民主主義を守ろう!



過去の過ちを繰り返さないために今を考え、行動しよう!



8月15日、79回目の「終戦の日」を迎えました。終戦から長い年月が経過し、戦争体験者から直接学ぶことが困難な状況の中、戦争の記憶そのものが薄れてしまう事が危惧されています。

現在もなおウクライナ侵攻やパレスチナ問題等、国家・地域間での戦争・紛争が後を絶ちませんが、私たちの日常の中では、平和への問題意識を強く持ち想像力を働かせなければ、「無関心」になってしまう現実もあります。一方、先月の日米安全保障協議委員会では在日米軍が統合軍司令部を新設する方針が示され、自衛隊との連携強化が加速し米国の核兵器への依存がさらに深まる等、情勢は変化しています。また、沖縄県辺野古では米軍普天間飛行場の代替基地として民意に背き建設を強行する国の姿勢が如実に現れています。沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落事故から20年が経過し、その後595件もの米軍機関係の事故が発生していますが、日米地位協定により米軍の同意がなければ機体を調べることもできません。日々変化する情勢に目を向けつつ、このような沖縄の不条理と現実を私たちの問題として捉え、行動しなくてはなりません。

私たちは平和研修で「軍隊は住民を守らず、むしろ人間を盾にし、国家を守る」という戦争の本質を学びました。そして有事法制で「武力攻撃等への対処に関し…必要な措置を実施する責務を有する」と定められたJR東日本で働く私たちにとって、戦争は決して他人事ではありません。岸田首相は先日、国民投票で「自衛隊の明記」と「緊急事態条項」の2つの論点を問いたいとの考えを述べ、改憲への意欲を示しました。今こそ私たちは仲間と議論を深め、憲法改悪と戦時体制強化を許さず、平和な社会を求めて行動しなくてはなりません。

私たちは「平和・人権・民主主義」を求め、全ての戦争政策に反対し、安心して暮らせる社会を求めて行動しています。未来は私たちの行動にかかっています！仲間と共に「19日行動」や大宮地本主催「平和集会(仮称)」(8月31日開催)に結集し、共にたたかいを創り出そう!



歴史の事実から学び、憲法改悪と軍拡を許さず、平和で安心して暮らせる社会の実現のために共に行動しよう!